

佐賀県立大学^(仮称)学長予定者である

山口和範氏が出前授業を行いました!



県立大学では、県全体を学びのフィールドとした課題解決型学習(PBL)を重視し、県内高校等で実施されている探究学習を軸に県内高校等との連携を目指しています。

この連携に向けた取組の一つとして、『探究の学習とデータの活用』をテーマに、県立大学学長予定者で立教大学教授の山口和範氏^{やまぐちかずのり}が、唐津西高校、三養基高校、佐賀商業高校で出前授業を行いました!

授業では、前半に講演、後半には政府の統計データを用いた演習が行われました。
授業の様子は、下記をご覧ください!

山口先生の授業の point

- ・失敗を恐れず、答えのない課題にチャレンジすることが大事。
- ・探究の時間では課題解決に取り組むが、探究学習は、進学や就職にかかわらず、人生を幸福にするために重要。
- ・組織を動かすには、納得感と共感を得ることが重要で、その手段の一つとしてデータを活用することが有効。 など

〈1〉 令和7年5月29日(木) 県立唐津西高等学校

受講した生徒の声

- ・様々な場面でのデータ活用の重要性を感じた。
- ・データの大切さが改めてわかったので、地域が出しているデータや現場で情報収集などをして「総合的な探究の時間」に取り組みたい。

全校生徒 約440名が受講



〈2〉 令和7年6月19日(木) 県立三養基高等学校

受講した生徒の声 🗨️

- ・探究学習では、何が問題・課題であるかをしっかり把握して取り組みたい。
- ・自分はチャレンジすることが苦手。
でも今日の授業で「失敗の向こうに成功がある」と聞いて、今のうちにチャレンジしていきたいと思った。
- ・データは使ったことがなかったが便利だと思った。
これから活用していきたいと思う。



〈3〉 令和7年6月20日(金) 県立佐賀商業高等学校

受講した生徒の声 🗨️

- ・初めて見る統計サイトを紹介してもらい、
自分では考えたことのないような事例を知ることができた。
統計データをこれからの活動に活かしたい。

